

修了式「心のスイッチ」 3/24

前回の全校朝会で、「準備8割 実行2割」というお話しをしました。今年度は、今日が最後の日です。今の学年を終え、新しい学年に進む準備は、もうできたでしょうか？

「今日は心のスイッチ」という詩を紹介します。

皆さんは、心にスイッチがあることを知っていますか？ 家には電灯のスイッチがありますね。心にもスイッチがあるのです。電灯のスイッチを入れると、家の中がパッと明るくなりますね。同じように、自分の心のスイッチを入れると、心の中がパッと明るくなります。それは、心が動き始める、自分の心が働き始めるということです。

「人間の目は ふしぎな目 見ようという心がなかったら 見ても見えない 人間の耳は ふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いていても聞こえない 頭もそうだはじめからよい頭わるい頭の区別があるのではないようだ「よし やるぞ！」と心のスイッチがはいると 頭も すばらしい はたらきを しはじめる 心のスイッチが 人間を つまらなくもするし すばらしくもしていく 電灯のスイッチが 家の中を明るくもし 暗くもするように…」

皆さんには、無限の可能性があります。どんな自分になるか、かけがえのない命をどう使うか、それは皆さん自身が決めることです。

とくに6年生。もう明日で小学校を卒業します。4月からは中学生です。心のスイッチを入れ、素晴らしい自分を創り上げていくか、逆に、心のスイッチを入れないまま眠らせてしまうか、大きな分岐点を迎えます。中学生になるということは、自分を自分で創っていく責任者になるということです。もう、準備はできていますね。

さあ皆さんは、いつ、心のスイッチを入れますか？ もちろん、今、ですね。今、心のスイッチを入れて、自分の命を輝かせてほしいと思います。皆さんは、自分の世界での主人公です。世界でただ一人の自分を創っていく責任者です。4月から新たな一歩を踏み出してほしいと願っています。